

執筆・投稿規程

執筆・投稿規程

1. 本誌は、立教大学コミュニティ福祉学研究科により、年1回発行される。発行者は立教大学コミュニティ福祉学研究科委員長とする。
2. 投稿者は、原則として立教大学コミュニティ福祉学研究科博士前期・後期課程の在籍生とする。学外者との共同執筆の場合は、紀要編集委員会の承認を受けることとする。
3. 投稿論文は、編集委員の責任によって選定掲載する。採用原稿は原則として返却しない。
4. 提出時に「論文」「研究ノート」「翻訳」等の申請を行う。変更があった場合はすみやかに編集委員に申し出ること。
5. 投稿原稿はこの「執筆・投稿規程」に従い、印刷物1部と電子データを記録媒体に納め期日までに提出する。
6. 印刷物はテキストベース、A4用紙を縦に用い1頁40字×40行（1,600字）で作成する。フォントサイズは10.5ptを原則とする。
7. 投稿原稿の表紙には（1）表題、（2）表題の英訳、（3）著者名、（4）著者名の欧文表記、（5）所属部門の順に記載する。
8. 原著論文の構成は、それぞれの分野の慣習に従うが、原稿には必ず英文表題と英文要約をつける。要約は150語前後で内容を簡素にまとめたものとする。
9. 8の次に原稿の内容を表すキーワード（3～5語程度）を記載する。
10. 原稿の長尺は400字×40枚以内を原則とし、図表はA4半ページの大きさの図表1つを400字相当として換算する。
11. 記述は簡潔・明瞭を旨とし、また極端に細かな章・節の区分を避ける。難読文字・旧仮名遣いでの使用は、資料の引用以外の箇所では行わない。
12. 図表は通し番号を付し、本文中には「図1」のように、挿入箇所を明示する。その実物は、A4用紙枚にそれぞれの図、表を書き、印刷物と共に添付する。また電子データとして提出する場合には、それぞれの図、表

ごとにデータ作成すること。解像度300dpiを下限とする。データ・フォーマットは原則 .jpeg .gif .png .psd とする。

13. 文献の引用を含めた注の付け方は、それぞれの分野の慣習—基本的には [1] または [2] —に従う。いずれの場合も、文末に一括して表記する。

[1] 注と引用の出典を区別する方式

[2] 引用の出典も注の形で表記する方式

[1] の方式

- (a) 各文献は、筆頭著者名のアルファベット順（同一著者の場合は発表順）に記載する。
- (b) 注は、1)、2) と表記。
- (c) 著者氏名は人数に関係なく全員の氏名を記載する。ただし、文中に用いる場合は、4名以上の著者を「〇〇ら」と略してもよい。
- (d) 欧文・邦文とも雑誌名は省略しない。
- (e) Web Siteの場合は、URLおよび、アクセスした日を記入。
- (f) 文中・文末での引用は下記の例のように記載する。

例 文中

……坂田（1990）は……
……箕口ら（2002）は……

例 文末

【参考文献】

糸賀一雄（1965）『この子らを世の光に』 柏樹社
坂田周一（1999）「コミュニティの福祉効果」『コミュニティ福祉学部紀要1』 pp.119-130
箕口雅博・浅井健史・富安哲也・渡邊葉月（2002）「グループ運動表現療法における体験内容とその継続的变化に関する検討」『コミュニティ福祉学部紀要4』 pp.73-86
Action for children (<http://www.daycareaction.org/index.cfm?fuseaction>) (2002/10/27 アクセス)
Beauchamp, T. L 1982 Ethical Theory and Bioethics, in Beauchamp and Waltears (eds.) Contemporary

Issues in Bioethics (2nd.ed.), pp.10-12

[2] の方式

注の記載方法は原則以下の通りとする。

雑誌

著者名：論文題名、雑誌名、巻号、発行年（西暦）、頁

単行本

著者名：書名、発行所名、発行年（西暦）、頁
著者名：論文題名、編者名、書名、発行所名、発行年（西暦）、頁

14. その他、注に関して次の原則に従うこと。
- (a) 数字は原則的に算用数字、計算単位系（SI）を用いる。
 - (b) 文章中の英数文字は、半角テキストを適用する。
 - (c) 句読点は、慣用の [、] [。]（全角）を用いる。半角 [、] [.] および全角の [，] [．] は印刷工程の効率を損なうので使わない。
 - (d) 括弧類は、邦文中は全角を用いる（半角を用いると印刷レイアウトの際にフォントベースラインで整合性が取れないので注意）。欧文中は半角を用いる。
 - (e) 見出し記号については、次頁＜執筆要綱＞を参照。
 - (f) その他詳細については、本誌編集委員会の申し合わせ事項に従う。

編集要綱

1. 立教大学「コミュニティ福祉学研究科紀要」第18号（2020年3月発行）とする。
 2. 1頁、B5版横書き。
 3. 紀要委員会が印刷所と連絡を取り合う。
 4. 原稿種別は、「論文」「研究ノート」「翻訳」「書評」その他とする。
- 1) 「論文」：図表、参考文献、その他を含めて原則、16,000字以内
- 2) 「研究ノート」：図表、参考文献、その他を

含めて原則、10,000字以内

- 3) 「翻訳」「書評」「その他」：図表、参考文献、その他を含めて原則、10,000字以内

*図表は、原稿枚数に含む。半ページの大きさの図表1つを400字として換算する。

5. 共同研究に関しては、紀要委員が承認を行う。

執筆要綱

1. 「論文」400字×40枚以内、「研究ノート」400字×25枚以内、「翻訳・書評・その他」400字×25枚以内。「研究ノート・その他」には、研究上の問題提起、内外の動向紹介、研究プロジェクトの経過報告、調査報告、他の著書・論文への批判・反論等を含む。
2. 文体は原則として口語体の「である調」とする。
3. 見出し記号は
章：Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．（ローマ数字全角）
節：1．2．3．（算用数字全角）
項：1) 2) 3)（算用数字半角・括弧は全角）
それ以下を①②③とする。
4. 注は文末にまとめて表記する。本文中の注番号は、該当箇所の右肩に1) 2) 3) と（ワードプロセッサ脚注機能を使用し）半角8ptで表示する。
5. 図、表は原稿の挿入すべき場所に図1、表1のように記入し配置する。また別の用紙に図、表を添付して提出する。
*他の著作物からの転載の場合は、出典を図、表の下に明示することとする。
編集委員会が必要と判断した場合、執筆者は著作者から承諾を得る。
6. 邦題には、英字タイトルをつける。
7. キーワードを3～5個程度つける。
8. 執筆者による校正は原則として再校までとする。それゆえ再校の段階では、できる限り新たな加筆訂正は行わない事とする。
9. 本＜執筆・投稿規定＞は、執筆者と印刷の

やりとりの上で問題が浮上した場合、それを改善すべく、各投稿者の進捗状況に混乱の起こらないよう出来る限りの配慮をしつつ、必要時に改訂を行う。

10. Web上での公開

掲載された著作物については、立教大学学術リポジトリ(<https://rikkyo.repo.nii.ac.jp/>)に登録し、公開する。

〔付帯事項〕

*執筆者に対する抜き刷りの進呈は、原則として30部を上限とし、執筆者は希望部数を申告する。共同執筆の場合は、全体で30部とし、それを超える分については、費用を執筆者が負担する。